

顕彰碑建立5周年記 念事業案内

1968年11月3日誕生出身の講談社創業者野間清治の偉業を尊ぶと共に、この顕彰活動を推進することを旨として、野間清治顕彰会が創立されました。

野間清治の顕彰碑が、図書館の前身に建立されて早や5周年、本年度はこれを記念した事業が多く企画されています。

野間清治は誕生市新宮(山田郡新宮村)に生まれました。

『雑誌の本領は、雑なるにあり。雑があればこそ秩序も生じ光彩も生じる。』を信念として、「面白くするために」をモットーに大衆文化の向上に貢献しました。誕生が生んだ世界の雑談王として市民の誇りであります。

碑文は「志あるとこそ道自ら生ず
これを志すこと貴なるれ
道はちかきにあり」

顕彰会は数々の事業を通して、隣人から文化を発信していきたいと活動を展開してまいります。
これから開催される事業に多くの皆さんの参加をお待ちしています。

野間文庫読書推進賞

野間文庫読書推進賞は、講談社の創業者野間清治の徳を伝えるべく平成13年に創設され、これまで5人の個人賞と3団体が贈呈されました。

本年は、読書推進賞開設3周年と顕彰碑建立5周年記念の年であります。
より広く多くの団体に贈呈する予定です。

文化講演会

文化講演会は、現在講師選定と日程の調整をしています。この講演会も講談社の前身文庫を得て平成16年1月～2月の開催を予定しています。

これまで顕彰会は、瀬戸内政雄・尾崎勇樹・渡辺井一・北方謙三・浅田次郎・森戸見子・内山節次氏を講師としてお招きし講演会を開催してきました。

今回5周年記念特別講演会も大いに期待ください。

野間コレクション展

野間清治翁が生前収集していた、数万点の美術品の中から選択し、一大展示会を平成16年1月に開催できる事となりました。講談社と野間記念美術館の協力を得ての開催です。

誕生市文化事業1市の絶大な支援も得て、「野間清治顕彰会・誕生市文化事業団・講談社友会」の共催事業として大いに期待できるコレクションの高い展示会となります。

これまでに「少年倶楽部・講談社の絵本展 郷土資料展示ホール平成11年11月21日～30日」「野間清治講談社の絵本展 誕生市市民文化会館 平成11年11月3日～6日」を開催いたしました。



文化講演会 内山節次氏を迎えて

野間清治顕彰会創立委員
読書推進賞委員 須田利一郎

平成一五年五月二十
二日、市民文化会館小ホールに於いて、開演
された、講師内山節次氏

は哲学者と野村に半分の寄与を担っている、山節の文化活動に参加している、昨年の国民文化賞では総合プロデューサー、第の百年構想プロジェクト

トでは所長を務めた。この講演会は野間清治顕彰会・読書推進賞委員・誕生市立図書館の三者の共催で、前八十名が参加された。

講演の内容
私達の住んでいる地域は百年後どうなるか。いまのバブルの時代がそのまま続くとは思えない。大地を耕して食を得る方法は大変くわい。百年後何を残すかということを考えて生きなければならぬ。

山田の文化作り

文化は行政主導でなく、住民が旗振りをするべき、今山田村では村民の手で図書館作りがすすんでい、村民が計画を立ててそれに行政が協力する。

山村の生き残るには
小規模でも工夫をこらせば存続できる、フランスの自治体の規模は小さい、仕事の多くを住民がボランティアで行い行政経費をかけないでいる。

視察研修旅行

視察研修旅行は、「山田に文化の歴史を尋ねて」と題して、長野から岐阜への9月30日～10月1日、1泊2日の旅行になります。

見所は、岩波書店創業者の作った瀬戸内文庫・工女宿・平湯大滝・飛騨高山・宿泊はNHK朝の連続ドラマ「さくら」の舞台となった町、飛騨中川宿のひだホテルです。これまでに実施した視察研修旅行は「東京名園めぐりと講談社を訪ねて」「みちのく相手の文化と自然探訪」「野間記念館見学と東京山王遊覧」「熊の文化を訪ねて、奈良から京都へ」「富士山麓に語る歴史と文化・古沢荘の茶」「青羽宗純・講談社と染友者研究を巡って」

顕彰碑建立5周年記念献花式

郷土の発展に尽くし、またふるさとを離れて日本の歴史にその足跡を記した人として、全国に知られている誕生出身者はその名前に、野間清治・河川義朝・羽仁玉朗、この3人であろう。

野間清治は昭和13年60歳でこの世を去りました。5年前顕彰碑を建立して以来、図書館前庭にて、命日に当たる10月16日にその偉業を称し、顕彰活動を進めるため、献花式と野外コンサートを実施しています。

今回は5周年記念として市民各位の参加を願い、特別委員会とレセプションを実施いたします。